



青き楓

島高だより
平成26年11月号
(通巻第104号)
長崎県立島原高等学校
編集：情報図書部

校長随想 湧水抄



「言い訳をしない生き方」を目指す

校長 北浦 剛資

島高生の「S」は「Science」のS。言い訳をする生き方の罪について考えてみたい。

■「言い訳」は既に後ろ向き

一日を振り返ってみよう。起床＝なぜもっと早く起きられないのか→「昨夜遅く友達からメールがあり、返信したら遅くなったから」、通学＝バスで老人がそばに立っているのに、なぜ席を譲らないのか→「頼まれもしなかったし、声を掛けるのが恥ずかしかったから」、授業＝なぜ課題をしてこなかったのか→「部活動で疲れて、いつのまにか寝てしまっていたから」、部活動＝なぜもっと声を出さないのか→「昨日から風邪気味で、のどが痛いから」、夕食＝なぜ野菜を残さず食べないのか→「臭いが嫌だし、面倒臭いから」…、まあ次から次にさまざまな場面でいろいろな言い訳が出てくるものである。「転ばぬ先の杖」でもあるまいが失敗する前から言い訳を用意している輩もいる。ところで、言い訳って何だろう？言い換えると「自己弁護」、自分の苦手や失敗を言い繕って正当化する行為。正当化してみたところで、失敗は覆らない。それどころか、言い繕う姿はみっともないし、カッコ悪い。言い訳は、既に気持ちが後ろ向きになっていることの表れである。

■「失敗を恐れるな」

「ヒューマンエラー」という言葉がある。人間の注意力には限界があり、どんなに注意深い慎重な人でも、疲れや錯覚などからエラーを起こすことをいう。人間は本来失敗する動物である。言い訳をすると、自分に逃げ道を作ってしまうことになる。時には逃げることも必要だが、逃げるばかりでは成長しない。自分の弱点を知り改善できるチャンスを逃しているからだ。失敗することは当然と考え、自分の失敗を率直に振り返り、その原因がどこにあったのか、どうすれば同じ失敗を繰り返さないのか、謙虚に反省するところから成長が始まる。「失敗を恐れるな、しかし同じ失敗を繰り返すな。」そのためにはまず、言い訳をしない習慣をしっかり身につけることだ。

12月 行事予定

1日（月）	期末考査（～4日 1年）	15日（月）	美化強化週間（～19日）
	三者面談（～10日 3年）		三者面談（～26日 1年）
2日（火）	修学旅行（～5日 2年）	20日（土）	県一斉実力考査（1・2年）
6日（土）	土曜講座・小論文模試（1年）		センタープレ（～21日 3年）
	全統M模試（～7日 3年）	21日（日）	長崎総合科学大シンポジウム
8日（月）	19時完全下校徹底週間（～12日）	23日（火）	冬季補習（全学年）
	歳末助け合い募金（校内 ～12日）	24日（水）	終了式・大掃除
	夜間学習会（～19日 3年）	25日（木）	冬季補習（～27日 全学年）
9日（火）	歳末助け合い募金（街頭 ～10日）	28日（日）	センタープレテスト（3年 ～29日）
	地学セミナー（理数科1年）		
10日（水）	登校指導（～12日）	31日（水）	閉館
13日（土）	土曜講座（全学年）		来たる！平成27年元旦



～芸術鑑賞会～

10月29日（水）午後、芸術鑑賞会を島原文化会館大ホールで開催しました。

「学校寄席 一龍斎貞水 “立体怪談”」

第1部 講談・講談入門 一龍斎貞橘

第2部 立体怪談 一龍斎貞水（講談師として唯一の人間国宝）



第1部では軽妙な語り口の講談入門に笑いが絶えませんでした。第2部の大がかりな仕掛けありの怪談には、生徒たちも震え上がり、あちこちで悲鳴が上がるほどでした。日本の伝統芸能、講談の面白さにどっぷりと浸かったひとときでした。

【生徒感想より】

- ・第一部では涙が出るほど笑った。テレビのように映像も何もないのにこんなに面白いなんてすごい、と思った。面白おかしい例で講談と落語の違いもわかりやすく説明してもらって、勉強になった。（2年生男子）
- ・貞水さん自身はとても面白そうな人だったが、怪談が始まると、途中から怖くて怖くてたまらず、ずっと隣の友だちにしがみついて聞いていた。本当に怖かった。ほかにも講談を聞ける機会があれば、聞いてみたいと思った。（1年生女子）

人権集会「夢の続き」の鑑賞



『高齢者の尊厳を守り、誰もが自分らしく生きられる社会を作るためには…？』

11月5日（水）7校時、世代の異なる者との交流を通じ、様々な立場の人々が絆や生きがいを感じていく様子を描いたアニメーション「夢の続き」を鑑賞しました。

【生徒感想より】

社会の中では高齢者の立場は弱くなりがちだ。特に認知症の患者はそうである。しかし、今は記憶力が低下し、身の回りのことができなくなった高齢者も、若い頃は精一杯社会に尽くしてきた人ばかりであり、年をとったからといって人間としての価値がなくなる訳ではない。

今回のVTRを見て、私は最近祖父母との会話が少なくなっているのではないかとドキッとした。同じ屋根の下で暮らしているのに、毎日忙しく、ゆっくりと会話をする機会もない。だが、家に帰れば、祖母がつくってくれた温かい食事があり、祖父が干してくれた布団でぐっすり眠れる。自分が気づかないところで沢山世話になっていることに気づいた。祖父母も本当は自分ともしっかり話がしたいのかもしれない。私のことを気遣ってくれているというだけで私の視点は止まっていたが、その裏にはただ気遣ってくれているだけではなく、本当はもっと話がしたいと思ってきているのかもしれない。そう思うと込み上げてくるものがあった。今のこの気持ちを大切にしたいと思う。



理数科巡検～11/17(月)～

11月17日（月）に島原半島の地形や自然に触れ、科学的なものの見方や考え方、島原半島の魅力を知ることがを目的に理数科1年の42名が下記の行程で巡検を行いました。

■講 師 寺井 邦久 先生（諫早青少年自然の家職員）
 ■行 程 垂木台地→大野木場小学校→龍石海岸→原城跡→口之津公園（昼食）
 →早崎海岸→津波見海岸両子岩

【生徒感想】

日頃、普通に通っていた道が、本当は断層を越えていたり、島原半島にある断層は150mも沈んでできたりと、初めて聞くことが多く大変驚いた。雲仙普賢岳の噴火の爪痕が今でも残っているということに衝撃を受けました。大野木場小学校では残っていた遊具から火砕流が来た方向がわかったり、火砕流に巻き込まれても校長室の金庫が無事だったという話を聞いてびっくりした。また隣の熊本県の阿蘇山噴火の火砕流が海を渡って来ているという話には想像を掻き立てられた。本物を目の前にして、触れてみながら、様々な話を聞くことで普段教室では得られない感動があり、中学校の頃に行った巡検とは全く違う驚きがたくさんあり、とてもよかった。津波見海岸で「オパールが見つかるかも」と皆でがんばって探したけれど、見つけれなかった。が、とても貴重な体験ができたと思う。



高校生さわやか運動★ペト＊フル＊活動

■「高校生さわやか運動」の一環として、ゴミの分別・朝のあいさつ運動を行っています。美化やマナーへの意識をいっそう高め、地域の方々から愛される島高生になってほしいと思います。

★活動名称：「ペト＊フル＊活動」

★主旨：ボランティア活動を通して、地域や社会に貢献する

★回収方法：毎月指定した週間を「ペト＊フル＊ウィーク」と定め、クラスに回収容器を設置します。回収物はそこに投入してください。金曜日の放課後に保健委員は生徒会室に持ってきてください。



■また、生徒会では10月から毎月1週間を「ペト＊フル＊ウィーク」として、ペットボトルの蓋やブルタブの回収ボランティアを実施しています。ご協力をよろしくお願いいたします！



【剣道部】

平成26年度長崎県高等学校新人体育大会 剣道競技

男子団体	優 勝	藤野 聖那
女子団体	優 勝	藤川 航平
男子個人	優 勝	藤崎 薫子
	第3位	竹中 美帆
女子個人	優 勝	中西 蓮詩
	準優勝	堤 麻衣子
	第3位	

【レスリング部】

平成26年度長崎県高等学校新人体育大会

レスリング競技

団体戦の部	優 勝	
個人戦の部		
50kg 級	優 勝	金子 功誠
60kg 級		喜多 豊和
74kg 級		岩永 昂樹
84kg 級		濱本 大徳
120kg 級		宮田 大輝
60kg 級	準優勝	吉田 薫平
66kg 級		石橋 智啓
84kg 級		峯 正隆
84kg 級	第3位	竹内 裕哉

【体操部】

平成26年度長崎県高等学校新人体育大会 体操競技

女子団体の部	第3位
男子団体の部	第3位

【弓道部】

第33回全国高等学校弓道選抜大会長崎県予選大会

男子団体の部 優 勝 1月に行われる全国選抜大会に出場します！

主な部活動実績など

【放送部】

第36回九州高校放送コンテスト長崎県大会
朗読部門 優良賞 吉永 龍朗

第36回九州高校放送コンテスト県央地区大会
朗読部門 優秀賞 吉永 龍朗

アナウンス部門 優秀賞 佐藤 優翔
酒井 彩希
緒方 健人
松崎 有希子

【理数科】

第3回島原半島ジオパーク研究発表大会

優秀賞 「島原市における湧水の水質について」
研究奨励賞 「垂木台地の植生調査」



学習会、頑張っています！

■11月19日～21日、「部活動生支援学習会」を行いました。

部活も学習も頑張れる環境を目指しています。生徒たちも夜遅くまで先生に質問をしていました。

■受験を控えた3年生も、11月10日～14日、「第1回夜間学習会」で遅くまで残って勉強に励みました。

保護者の皆様には、ご理解とご協力を賜り感謝致します。
がんばれ！ 寒さと自分に負けるな、島高生！！

